

「災害」「まち」「人」の3つを知る

災害を知る

自分達の地域で起こりえる災害がどんなものなのかを認識する。「どこで、どれくらいの規模で、どんな被害が想定されるのか」を地図に書き込んでいくうちに、災害を少しずつ具体的にイメージできるようになってきます。

まちを知る

普段の生活の中で、自分達が住んでいる地域の地図を見る機会はあまりありません。「地形はどんなものか」「構造はどんなものか」「必要なものはどこにあるのか」地域を見直し、自分達の住んでいる地域がどんなものなのか、理解できるはずです。そして災害に対しての強さや弱さも分かります。自分達の地域を再発見できます。

人を知る

「いざと言う時に頼れる人はどこにいるのか」「近所に助けを必要としている人はいないのか」人的要素の情報を地図に書き込みます。色々な意見を出して災害救援について語り合えば、連帯感も生まれ信頼関係も作れます。さらに地域の防災ネットワークづくりにも一役買います。

DIG の効果として、「災害を知る」「まちを知る」「人を知る」の3つが挙げられます。地域に起こりうる災害の姿を具体的にイメージでき、意外なほど自分の住む地域を知らなかった事に気付かされます。

また DIG を通して参加者同士が議論する事で、地域での人間関係が育まれていきます。

